

| | |
|----|---------------|
| 公表 | 事業所における自己評価結果 |
|----|---------------|

| | | | |
|------|------------------|-----|--------------|
| 事業所名 | 発達支援センター フォローアップ | 公表日 | 2025年 2月 28日 |
|------|------------------|-----|--------------|

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|----------|----|--|----|-----|--|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 7 | | 基準以上のスペースを確保しています。さらに、ご利用時の状態や活動内容に合わせて机や活動場所を変更し、工夫をすることで快適な環境の提供に努めています。 | 今後もご利用時の状態や活動内容に合わせて工夫をし、快適な環境の提供に努めていきます。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 7 | | 基準配置よりも更に充実した加配体制に合わせた支援員を配置しています。 | 丁寧に保護者の方への説明を行いながら、今後もご利用時にきめ細やかな対応ができるように、手厚い配置の現状を継続できるようにと努めています。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 7 | | 子ども達が過ごす室内は全面バリアフリーとなっております。更に防音・衝撃吸収マットを敷詰め、活動に合わせて工夫し、障害特性に配慮した室内づくりを行っています。 | 今後も安全に配慮をしながら、子ども達が安心して快適に過ごすことが出来るようにと、努めていきます。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 7 | | 毎日常時換気と清掃・消毒を行い、清潔を保ち感染症対策を行っています。温度計・湿度計を設置して常時管理把握して清潔で心地よく過ごせるよう努めています。 | 今後も常時換気と清掃・感染症対策を行いながら、子ども達が快適に過ごすことが出来るようにと、環境整備に努めていきます。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 7 | | 療育室を設置し、お子さまの状況に応じてクールダウンできる場所として使用して頂いています。 | 今後も日頃からお子さまの様子を注意深く観察することを意識し、心身の状況に寄り添い個別の部屋の活用を行っています。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 4 | 3 | 毎日のミーティングで支援員と話し合い、必要に応じて業務改善や支援の振り返り、改善共有が出来るようにと努めています。 | 今後もより良い支援、事業所を目指し職員全体で適宜振り返り、改善に努めていきます。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | | 保護者向けの評価表回収後は、分析する場を設け、具体的な改善案を項目ごとに検討し、改善に努めています。 | 職員全員に評価シートの結果を共有し、同様の意識をもって改善に取り組んでいけるよう努めていきます。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 5 | 2 | 毎日のミーティングで支援員一人一人が意見を出し合える機会を設け、必要に応じて業務改善に努めています。 | 個別でのフォローアップも含め、職員の意見を把握する機会を設けていきます。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 3 | 1 | 現在は第三者による外部評価は行っていません。 | 現在は予定していません。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 3 | 4 | 研修開催時には記録を残し、研修内容の振り返りを行えるようにしています。 | 委員会を設置し、年間計画に沿って研修・訓練を実施し全職員への周知を徹底して行っていきます。 |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 3 | 3 | 現在、HPIC支援プログラムの公表に向けて準備を行っています。保護者の方には個別でLINEを通じて支援内容や行事内容の詳細を伝えています。 | 法人のホームページを充実させて、事業所の公式ライン等を活用しながら情報を発信できるように努めていきます。 |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 4 | 2 | 丁寧に保護者の方への説明を行いながら課題共有した事を元にし、5領域の項目の設定を行い、内容を記載しています。 | 今後も一人お一人の状況に応じた活動を適宜組み合わせ、支援計画の作成、丁寧な説明を行うとともに、職員への周知も徹底してしていきます。 |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 4 | 3 | 児童発達支援管理責任者が計画作成を行う際、お子様に関わる職員へ状況確認を行いながら検討・修正を行っています。 | 今後、支援に関わる職員を含めたケース会議を行い、内容検討・修正してしていきます。 |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 3 | 4 | 児童個別ファイルに個別支援計画書をファイリングしており、職員が必要に応じて見れるようにしています。 | 職員全員への周知を徹底して個別支援計画書の作成、支援に努めていきます。 |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 3 | 4 | より質の高い行き届いた支援が行えるようフォーマル・インフォーマルなアセスメントを使用し、お子様の特性や適応状況を分析理解し支援に繋がっています。 | アセスメント情報を職員全員への周知を徹底して行い、様々な角度から分析・検討し、支援に努めていきます。 |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 5 | 2 | 事務室に保管し、職員がいつでも再確認しやすいサービス提供を行えるようにしています。 | 再度児童発達支援ガイドラインの研修を行い、今後もガイドラインのねらいや内容を踏まえた支援を継続して行っていきます。 |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 7 | | 職員全体で日々の活動を振り返り、お子様の特性や状況に合わせて毎日の活動プログラムを考え、立案・修正実行をしています。 | 今後も継続して行っていきます。 |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|---|--|--|---|
| 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 7 | | 日々のミーティングでカリキュラム検討する機会を設け、様々な活動プログラム、季節行事、製作を考え、提供しています。 | 今後も継続して行っていきます。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 5 | 2 | お子様の特性や心身の状況を鑑みて、一人ひとりが意欲的に参加できるよう工夫しながら個別活動・集団活動を組み合わせ支援を行っています。 | 職員への周知を徹底したうえで今後も、集団活動・個別活動、個々の特性や課題等の状況、利用時の児童の様子に応じて臨機応変に対応しながら支援に努めていきます。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 7 | | 毎日全体ミーティングを行い、お子さまの直近利用時の様子や伝達事項・役割分担等の確認を行っています。変更の際もその都度職員全体に伝達し、ホワイトボードにも記入を行い情報共有を徹底しています。 | 欠かさず毎日全体ミーティングを行い、お子さまの直近利用時の様子や伝達事項・役割分担等の確認を行っています。変更の際もその都度職員全体に伝達し、ホワイトボードにも記入を行い情報共有を徹底していきます。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 3 | 4 | お子様の様子や課題の進捗状況についてその都度共有を行っています。 | 翌日職員が全員揃うミーティングで振り返りを行い、日々職員間での情報共有を行ってまいります。重要事項については当日中に管理者に報告するよう周知してまいります。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 3 | 4 | サービス提供記録を保管し、振り返りができるようにしています。 | 業務日誌で記録を残し、過去の支援の内容や取り組みの状況等を振り返り、次の支援に活かせるようにしています。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 3 | 2 | 定期的にモニタリングを実施しています。支援期間毎に保護者の方と現状を共有し、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しを行っています。 | 今後も継続して行っていきます。また引き続き、保護者の方へ丁寧な説明を書面を提示しながら行っていきます。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 3 | | その児童の取り巻く環境を分析した上、サービス担当者会議や関係機関との会議を行うよう努めています。 | 今後も、関連機関との情報共有を行いながら、会議開催時には慎重に参加者を推薦し、連携を図ってまいります。 |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 3 | 4 | 連携体制を整え、関係機関先の情報を書面で保管しています。また、保護者の方へ年に1回アセスメントシートの提出協力をいただき、かかりつけ医等必要な項目の確認を行っています。 | 緊急時の連絡体制を整えておくとともに、職員間でも共有し迅速な対応ができるよう努めてまいります。 |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 7 | | 園での行事ごとなどに配慮しながら、併行利用しやすいよう利用していただいています。また、お子様の状況に合わせて保護者の方と相談しながら、日数や曜日を調整し利用していただいています。 | 今後も継続して行っていきます。 |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 4 | | 必要に応じて情報共有を行うようにしています。 | 今後も必要に応じて行っていきます。 |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 3 | 4 | 地域の児童発達支援センターとの交流は現在ありません。 | 今後、支援員全体のスキルアップを目指し積極的参加、研修の機会を設けていきます。 |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 3 | 4 | 系列の施設との交流はあります。 | 今後も機会があれば行っていきます。 |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 7 | | 保護者の方との連絡ノートや事業所のライン等を活用しながら、送迎時の直接のやり取りや電話も利用して、日頃から情報共有できるように努めています。 | 今後も継続して行っていきます。 |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 3 | 4 | 保護者の方からのご相談があれば、その都度助言をさせていただきます。 | 今後は今年度から行っている保護者参加型のイベント行事を充実させ、ペアレントトレーニングを交えた機会の提供を行ってまいります。 | |
| 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 6 | | 運営規定、利用者負担については契約時、丁寧に説明を行いご不明点がないか確認を行うよう工夫しています。支援プログラムについては見学や、コミュニケーションノート、SNSツールを通じて随時お伝えしています。 | 今後も継続して行っていきます。 | |
| 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 5 | | 面談等の場合は勿論、日々の支援内容を送迎時やコミュニケーションノートを通じて、お子様の現状課題を共有するうえでサービス提供を行っています。 | 今後も継続して行っていきます。 | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|--|---|
| 保護者への説明等 | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 4 | | 児童発達支援管理責任者が丁寧な説明を行い、同意を得た上でサービス提供を行っています。 | 今後も継続して行っています。 |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 7 | | 保護者の方から送迎時や施設との連絡ノートのコメント欄、事業所のライン等により相談をいただき、悩み等のお話を何う取りの中で個々に助言を行っています。 | 今後も継続して行っています。 |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 3 | 4 | 現在、保護者会の開催は行っていません。 | 保護者の方々の必要性を勘案しながら、検討していきます。 |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | | お子さまや保護者の方がより相談できる環境を提供し、随時対応できるようにしています。 | 今後も継続して行っています。 |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 6 | 1 | 行事予定については、書面や個別でのLINEで丁寧に説明を行うようにしています。 | 法人のホームページを充実させて、事業所の公式ライン等を活用しながら情報を発信できるように努めています。 |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 7 | | 施設長のみ取り扱うことができるように鍵付き書庫に保管しており、職員全員に取り扱いの重要性を周知しています。破棄する書類はシュレッダーを使用しています。 | 今後も継続して行っています。 |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 7 | | 必要に応じて文字・絵カード・メール等、様々なツールの利用を提案する中で、最適な意思疎通・情報伝達の為のツールを選んでいけるように配慮を行っています。 | 今後も継続して行っています。 |
| 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。 | 3 | 4 | 現在は、安全配慮の観点から開催は行っていません。 | 検討していきます。 | |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 4 | 3 | 月に1回避難訓練を実施しています。 | マニュアル類の共有を職員全体に周知徹底したうえで、引き続き訓練を実施していきます。 |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 7 | | 業務継続計画（BCP）に沿って、非常時の訓練を定期的実施しています。入社職員については入社時に個別で説明を行っています。 | 今後も継続して行っています。 |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 7 | | 毎年アセスメントシートを配布し、持病服薬やかかりつけ医について確認を行い、最新の情報を共有して頂くようにしています。 | 今後も継続して行っています。。 |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 7 | | 現在アレルギー対応しているお子様はいません。アレルギーの有無についても年に一度は変更がないか確認を行うとともに、変更があれば連絡して頂くよう伝えていきます。 | 今後も、緊急時にも迅速に対応できる環境を整えておきます。 |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 6 | 1 | 安全計画の作成を行い、マニュアルの周知、研修訓練の実施を行っています。 | 今後も継続して行っています。 |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 3 | 2 | 安全計画の作成を行い、マニュアルの周知、研修訓練の実施を行っています。 | 今後も継続して行い、保護者の方にも契約時に丁寧に説明を行っていることを職員にも伝えていきます。 |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 6 | 1 | ヒヤリハット・事故報告書などの必要書類は準備され、それにあたる事象が発生した際には、記録を残し対応策を必ず行っています。 | 今後も継続して行っています。 |
| 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 4 | 3 | 研修開催時には記録を残し、研修内容の振り返りを行えるようにしています。 | 全職員が研修を受けられるような仕組みづくりを行い、年間計画に沿った研修開催を行っています。 | |
| 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 4 | 2 | 現在身体拘束が必要なお子様はいませんが、身体拘束の指針やマニュアルについては全職員で読み合わせ研修を定期的に行い、虐待防止に努めています。 | 今後も継続して行っています。 | |